

三崎魚市場に水揚げされた魚類—XII

山田和彦・工藤孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo:

Landing Fishes of Misaki Fish Market, from Sagami Bay-XII

Summary: Ichthyofauna of Sagami Bay has been researched by us, and 553 species has hitherto been recorded since 1986. In the present paper, four species are additionally recorded. *Alubula forsteri* (Albulidae) and *Triso dermopterus* (Serranidae) are first recorded from Sagami Bay.

はじめに

筆者らは相模湾の魚類相を明らかにするために、三崎魚市場において周辺海域の漁獲物調査を継続している。これまでに549種を記録したが(山田・工藤, 2002), 新たに記録された4種について報告する。

調査方法

三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて、種類、採集場所、採集方法を記録した。調査期間は2001年10月から2002年9月までの1年間である。1ヶ月平均5回、合計62回の調査を行った。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎—富津岬以北の東京湾を除く海域である。採集場所の名称を図1に示す。標本として採集した魚は、新鮮なうちに写真撮影したのち10%ホルマリンで固定した。標本は横須賀市自然・人文博物館に魚類資料(YCM-P)として登録し保存した。

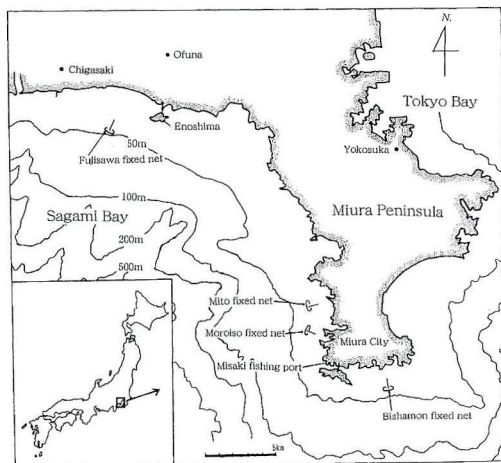


図1. 採集地点.

Map showing collection localities in Sagami Bay.

海況について

調査期間中の相模湾付近における海況は、概略次のとおりであった。黒潮は、10～12月に八丈島以南を通して大きく東へ迂回し、1～4月は八丈島・三宅島間を直進して流れた。相模湾の水温は2月まで平年より2℃前後低め、3、4月はやや高めで推移した。黒潮は5、6月に一旦蛇行して水温は平年並みに戻ったが、7月以降伊豆諸島北部に接岸・直進して流れ、8月上旬には平年より3℃以上高い強い暖水波及がみられた。黒潮は9月の小規模な冷水域の東進に伴った小蛇行後、10月いっぱいまで八丈島・三宅島間を通る流路に落ち着いた。9、10月の湾内水温は平年並みからやや高めで推移した。

調査結果

新たに記録された魚類について、通し番号、和名、学名、図版番号、採集年月日、採集場所および採集方法、体長(SL)、登録番号、分布記録などの順に記載した。和名、学名および一般的な分布記録は中坊編(2000)に従った。

550. ソトイワシ *Albula forsteri* (図2-1)

2001年10月3日、藤沢定置網、SL;660mm、YCM-P31868; ソトイワシ科魚類のうち、*A. forsteri*と*A. glossodonta*の2種がインド・太平洋の温暖海域に分布するとされている。このうち日本国内からは、ソトイワシ *A. forsteri* (*A. neoguinaica*が使われていたがSmith & Randall(1999)によって*A. forsteri*の異名とされた)のみが知られていたが、近年*A. glossodonta*も西表島から記録された(日高ほか, 2002)。これらのことから、本個体が詳細に観察した結果、頭長は上顎長の3.12倍でやや短かったものの、下顎先端が突き出ることから*A. forsteri*とした。相模湾で採集された標本が博物館などに

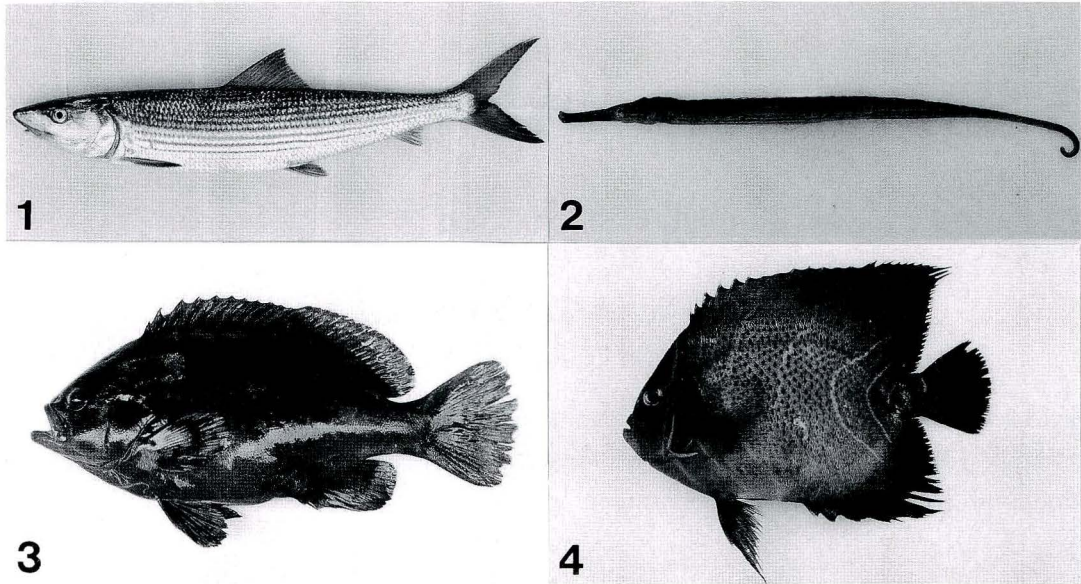


図2. 1:ソトイワシ *Albula forsteri*, YCM-P31868, SL660mm; 2:トゲヨウジ *Syngnathoides biaculeatus*, YCM-P31985, SL215mm; 3:トビハタ *Triso dermatopterus*, YCM-P39987, SL187mm; 4:サザナミヤッコ *Pomacanthus semicirculatus*, YCM-P39988, SL146mm.

保存されているが、これらも再検討の必要がある。なお、これまで文献による相模湾からの記録はない。

551. トゲヨウジ *Syngnathoides biaculeatus* (図2-2) 2001年11月23日、藤沢定置網, SL;215mm, YCM-P31985; 相模湾以南、インド・太平洋の温暖海域に分布する。相模湾では三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 天神島(林, 1995) から記録がある。

552. トビハタ *Triso dermatopterus* (図2-3) 2002年9月11日、藤沢定置網, SL;182mm, YCM-P39987; 南日本以南、西部太平洋、インド洋東岸に分布する。相模湾からはこれまで記録がなかったが、本個体のほか10月9日に同じ藤沢定置網で175mmの個体、三浦市近海で1個体(工藤・山田, 2003) が採集されている。

553. サザナミヤッコ *Pomacanthus semicirculatus* (図2-5) 2001年12月16日、毘沙門定置網, SL;146mm, YCM-P39988; 千葉県以南、インド・中部太平洋に分布する。相模湾では、三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 天神島(林, 1995), 芝崎(萩原・長谷川, 1990), 田ノ浦湾(東ほか, 1989) から記録があるが、すべて幼魚の記録である。本個体は成魚に近いが、相模湾で越冬したのか、成長したものが泳ぎ着いたのかは明確ではない。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便を図ってくださり、種々ご教示いただいた横須賀市自然・人文博物館の林 公義氏、資料収集にご協力いただいた丸タ丸、丸共丸、共栄丸、諸磯丸、万七丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々には深く感謝する。

文 献

- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町芝崎周辺の沿岸魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 103-110.
- 林 公義. 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1): 243-258.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎、田ノ浦湾周辺海域の魚類. Bull. Coll. Agr. & Vet. Med., Nihon Univ., (46): 175-185.
- 日高浩一・岸本浩和・岩槻幸雄, 2002. 西表島から採集されたソトイワシ科 *Albula glossodonta* の日本からの記録. 2002年度日本魚類学会年会講演要旨, p60.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29-38.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2003. 三浦半島南西部沿岸の魚類-V. 神奈川自然誌資料, (24): 49-54.
- 中坊徹次編, 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- Smith, D. G. and J. E. Randall, 1999. Order Albuliformes. pp1623-1624. Carpenter, K. E. and V. H. Nien eds. FAO species identification guide for fishery purposes. The living marine resources of the western central Pacific, vol.3.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2002. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・XI, 神奈川自然誌資料, (23): 9-11.

(山田: 相模湾海洋生物研究会, 工藤: 神奈川県水産総合研究所)